

姿勢保持装置



heart leaf chair FS

ハート・リーフ・チェア FS

ハート・リーフ・チェア エフ エス

昇降タイプ取扱説明書



この度は、ハートリーフチェアFSをお買い上げいただきありがとうございます。

この説明書は、本製品の機能を十分に生かす操作方法や、安全にご使用いただく為の注意事項などを記載しています。

ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、その後はこの説明書を大切に保管し必要に応じて繰り返しお読み下さい。

k Pacific Supply

ハートリーフチェア-F Sとは……………

ハート(heart)は、心・愛情・おもいやりを表し、両親や兄弟の愛情と、私たち(KAWAMURA)のこの商品に対する情熱・気持ちを表現しています。

リーフ(leaf)は、葉(木)を表し、やわらかで、あたたかみのある木材(ブナ材)をベースにした商品をイメージしています。

また、「葉」(特に若葉)は生命力の象徴とされています。葉が芽吹いた時、ちょうど子どもが生を受けて育ち始める大切な時期、このハートリーフ商品と一緒に生きる力・豊かな生活・人生を家族と一緒に育んで欲しい……………

こんな思い入れから生まれた姿勢保持装置です。



もくじ

1. 安全にご使用いただくために……………	P. 2
2. 構成部品と各部の名称……………	P. 4
3. オプション……………	P. 5
4. 仕様……………	P. 5
5. 調整機能……………	P. 6
6. ご使用前の点検・準備……………	P. 6
7. キャスタのロック方法……………	P. 7
8. 高さ調整方法……………	P. 7
9. ティルト調整方法……………	P. 8
10. リクライニング調整方法……………	P. 9
11. ヘッドサポート調整方法……………	P. 10
12. アームサポート調整方法……………	P. 11
13. フットサポート調整方法……………	P. 12
14. テーブルの取り付け・取り外し方法……………	P. 13
15. 内転防止サポートの取り付け・取り外し方法……………	P. 14
16. 成長対応の調整方法……………	P. 15
17. 昇降フレームの反発力調整方法……………	P. 16
18. カバーの外し方……………	P. 17
19. クッションの調整の仕方……………	P. 18
20. ベルトの調整の仕方……………	P. 19
21. 安全な使い方……………	P. 20
22. お手入れ方法……………	P. 21
23. 保管と廃棄方法……………	P. 21
24. ご使用前の点検・準備チェックリスト……………	P. 22
25. 保証規定……………	P. 23

1. 安全にご使用いただくために

警告



この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

本項目は、P. 4の「2. 構成部品と各部の名称」と併せて、お読み下さい。

- (1) 介護者をお願いします。本製品を使用中は、目を離さないで下さい。そして、次のようなことに注意して頂き、安全にご使用願います
- (2) 介助者は、使用方法や取扱注意事項等が理解できるまで、ご使用にならないで下さい。
- (3) 使用前には必ず保守点検（P. 6 ご使用前の点検）を行って下さい。また、保守点検を行っていない場合は使用しないで下さい。
- (4) 使用中はキャスト（「2. 構成部品と各部の名称」－⑦）のロックが確実にきいていることをたえず確認しながら使用して下さい。キャストのロックがきいていない場合、介助者がいすを制御できなくなる恐れがあります。
- (5) 必ずキャストのロックをかけて下さい。不意に動き出すことがあります。
- (6) この商品は移動を目的にした商品ではありません、お子様を乗せたまま移動すると本体が壊れ落下することがあります。
- (7) プッシュハンドル（「3. オプション」－⑥）を持って運ばないで下さい。持ち上げた際ハンドルが抜ける恐れがあります。
- (8) フットサポート（「2. 構成部品と各部の名称」－④）の上に立たないで下さい。転倒する恐れがあります。
- (9) シート（「2. 構成部品と各部の名称」－⑤）の上に立たないで下さい。ぐらついて転倒する恐れがあります。
- (10) 踏台や脚立のかわりに使用しないで下さい。転倒する恐れがあります。
- (11) 身体を乗り出す等すると、いすごと転倒する恐れがあります。
- (12) 車などに搭載する場合は、2人で作業を行って下さい。1人で持ち上げると手が滑って落下し作業者がけがをすることがあります。またお子さまが本製品に乗った状態で、本製品を車に搭載しないで下さい。
- (13) 身体支持部（「2. 構成部品と各部の名称」－⑨）の調整（高さ調整や、ティルト調整など）する場合は確認しながら行って下さい、指を挟んだり、お子さまが落下することがあります。
- (14) ガスシリンダー（「2. 構成部品と各部の名称」－⑥）の側面から力を加えないで下さい。ティルト調整や上下昇降調整の機能しなくなったりぐらつく場合があります。

(15) 修理が必要となった場合は必ず弊社へご連絡下さい。分解や改造はしないで下さい。

(16) 異常と思われたら、直ちに使用を中止して、弊社へご連絡願います。

注意



この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- (1) ティルト調整時や上下昇降調整時に、ットサポートを床にぶつけないようにして下さい。けがをしたり床やットサポートが破損する恐れがあります。
- (2) 本製品の耐荷重は40kg未満(手荷物等の積載物を含む)です。40kg以上では使用しないで下さい。
- (3) 直射日光のあたる場所や炎天下の車内に長時間放置したり、熱器具(ストーブ等)の近くで使用しないで下さい。不意に動き出したり、熱により変色や変形する恐れがあります。

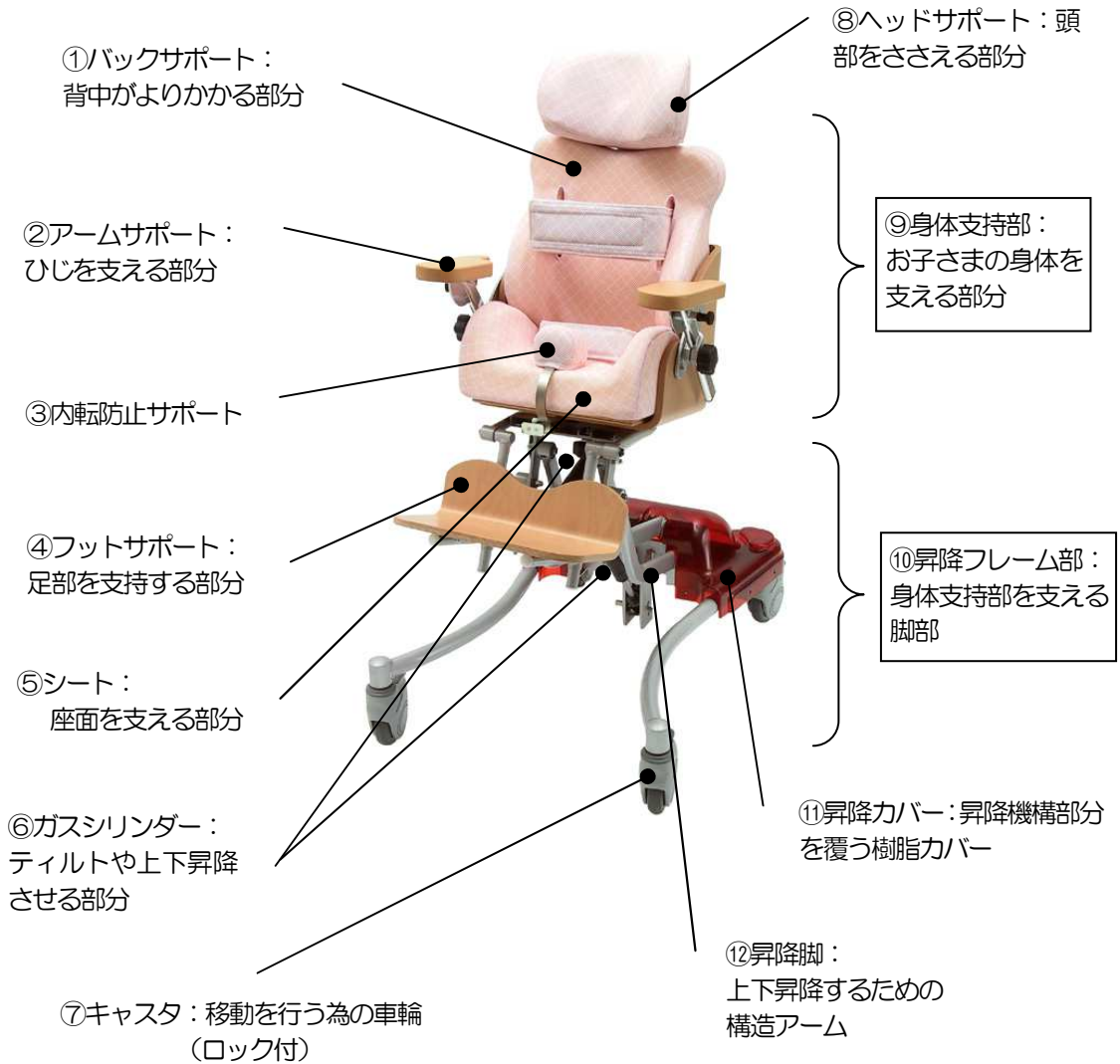
重要なお知らせ

本製品を使う上でのご注意と、本取扱説明書の重要なお知らせです。

- (1) 本書は製品とともに常に手元に保管し、必要に応じてくりかえし読んで下さい。
- (2) 製品の不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄については弊社まで問い合わせして下さい。
- (3) 本製品は改良のため予告なしに変更する場合があります。
- (4) 本書で説明・表記した方法以外での使い方はしないで下さい。
- (5) 本書中の図や写真は説明優先の為に、一部を省略したり抽象化した表現になっているものがあります。
- (6) 本書を紛失または損傷した場合は速やかに弊社までご連絡下さい。
(ただし、製品の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。)
- (7) 本書の内容に関しましては、ご不明な点や誤り、乱丁、落丁記載漏れなどに気付いた場合は弊社までご連絡下さい。

2. 構成部品と各部の名称

本製品は、下記の部品で構成されています。



その他付属品：L型レンチ（大）（小）各1本………身体支持部のシート下に収納しています。

3. オプション

本製品には、使用目的や症状に合わせて下記のようなオプションを用意しています。

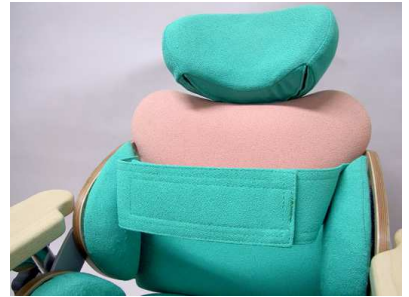
①テーブル



②骨盤ベルト



③胸ベルト



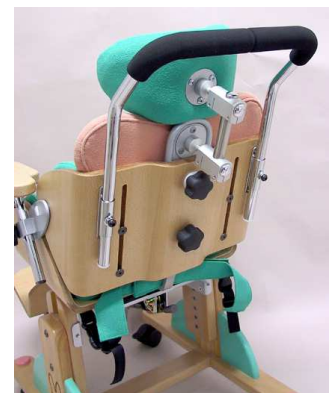
④肩ベルト



⑤体幹サポート



⑥プッシュハンドル



4. 仕様

本製品の仕様は下記の通りです。

- サイズ（座幅）：Sサイズは 160～220mm、Mサイズは210～270mm、Lサイズは260～320mm の範囲で、調整できます。
- 材 質：背・座・フットサポート＝ブナ成形合板、ポリウレタン塗装（クリアー色）
：脚・アームサポート：ブナ材、ポリウレタン塗装（クリアー色）
- キャスタ：φ100ダブルロックキャスター（4輪）
- 座面高さ調整：350～650mm（任意位置）ガスシリンダー式
（注意：ガスシリンダーの反発力により高さが異なります、P. 16 参照）
- ティルト：前傾5°～後傾20°（任意位置）ガスシリンダー式
- リクライニング：90°～110°（任意位置）ハンドルネジ式
- ヘッドサポート高さ・角度・前後調整：（任意位置）ハンドルネジ式
- アームサポート高さ調整：170～215mm（任意位置）ハンドルネジ式
角度調整：0～40°（P=10°）ピン式
- 重 量：約31kg
- 耐荷重：40Kg（手荷物の積載物を含む）

5. 調整機能

本製品には以下の調整機能があります。

1. 高さ調整
身体支持部の高さを使いやすい高さに調整できます。……………調整方法 (P. 7) 参照
2. ティルト機構
身体支持部の傾きを調整できます。……………調整方法 (P. 8) 参照
3. リクライニング機構
背もたれの角度を調整することができます。……………調整方法 (P. 9) 参照
4. ヘッドサポート調整
ヘッドサポートの高さや角度・前後調整ができます。……………調整方法 (P. 10) 参照
5. アームサポート調整
アームサポート高さ・角度が調整できます。……………調整方法 (P. 11) 参照
6. フットサポート調整
フットサポート高さ・角度が調整できます。……………調整方法 (P. 12) 参照
7. キャスタのロック機構
キャスタをロックすることができます。……………操作方法 (P. 7) 参照
8. クッション幅の調整
シート・バックサポートクッション幅を調整することができます。…操作方法 (P. 18) 参照
9. ベルトの長さ調整
ベルトの長さを調整することができます。……………操作方法 (P. 19) 参照

6. ご使用前の点検・準備

注意



本製品に破損や異常がないか、ご使用前に必ず各部を点検して下さい。異常状態のまま、絶対に使用しないで下さい。

[ご使用前に必ず次の点検を行って下さい。]

- (1) キャスタのガタツキはないか
- (2) 各部品がゆるみやガタツキがなく取り付けられているか
- (3) 各ベルト類に損傷や裂け等はないか
- (4) 縫製部分のほつれはないか
- (5) 面ファスナー (「16. 成長対応の調整方法」、「18. カバーの外し方」記載) の接着不良はないか
- (6) 各部にひび割れや欠け、変形等はないか
- (7) 各部のネジやカシメ部分に、ゆるみやガタツキはないか
- (8) その他の異常はないか

万一破損や異常が発生した場合はそのまま使用せず、必ず弊社にご連絡下さい。

パシフィックサプライ(株)本社営業部


TEL:072-875-8011

FAX:072-875-8015

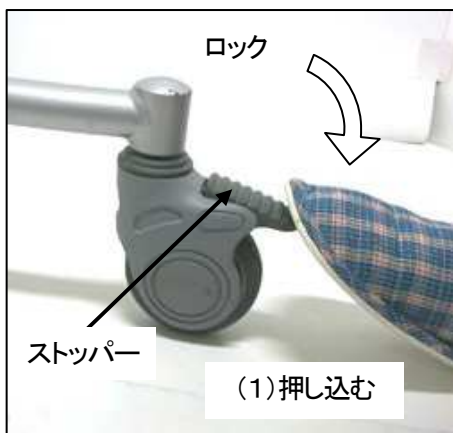
異常状態のまま、絶対に使用しないで下さい。

※点検には「24. ご使用前の点検チェックリスト」をご利用下さい。


7. キャスタのロック方法

注意  操作する場合は、指などを挟まないように注意して下さい。

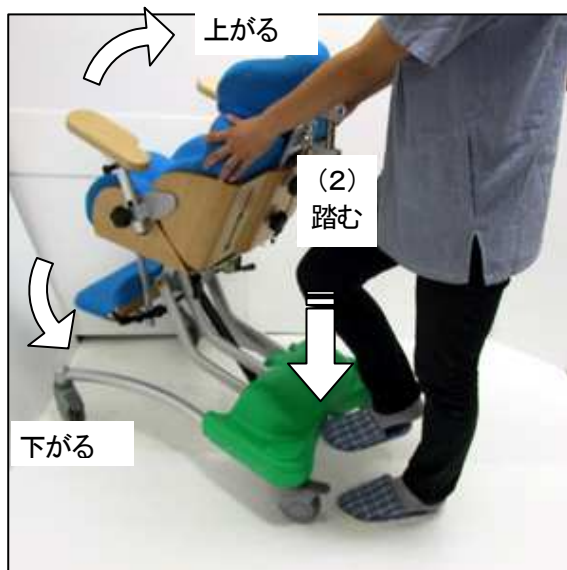
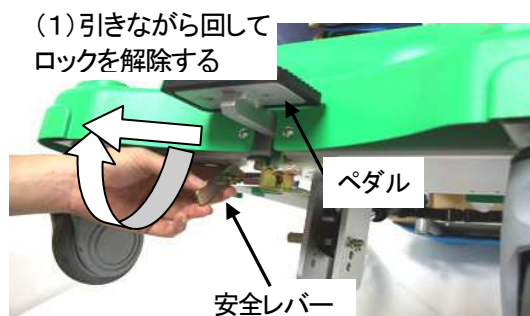
- (1) キャスタ上部のストッパー先端を押し込むと、ロックします。 (2) キャスタ上部のストッパーを、引き上げると、解除できます。




8. 高さ調整方法

警告  身体支持部を支えながら操作を行って下さい。急に動き出したり、急に落下してけがをすることがあります。

- (1) ペダル下の安全レバーを引きながら回し、安全レバーのロックを解除して下さい。
- (2) 背もたれを持ちペダルを踏み込んで高さを調整して下さい。
- (3) 好きな位置でペダルを放すと、固定できます。
(座面高さ昇降範囲については、P17参照)
- (4) 誤動作を防ぐ為、安全レバーを戻してロックして下さい。

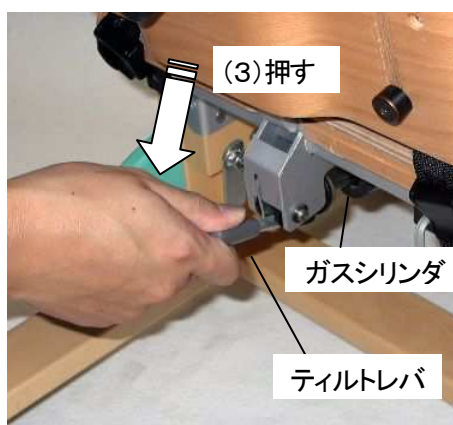


9. ティルト調整方法

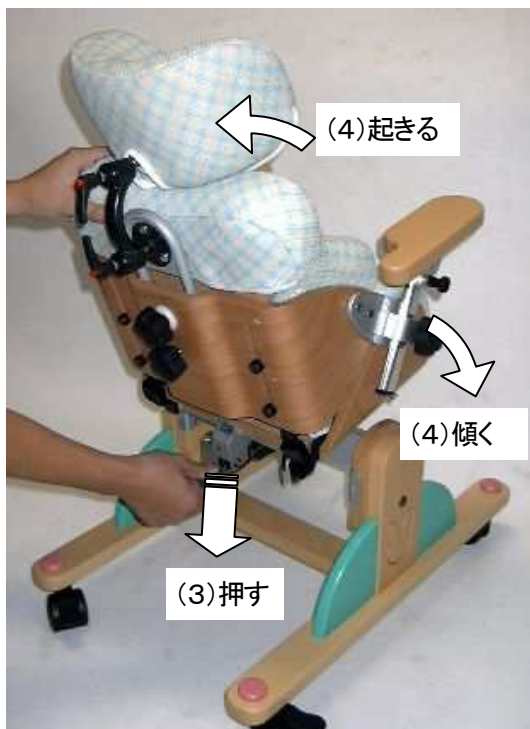
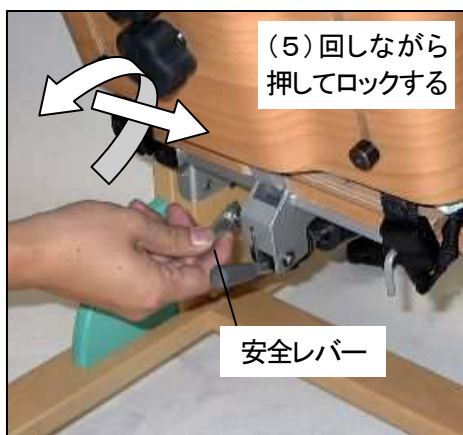
注意  身体支持部を持ちながら、操作を行って下さい。
不意に傾き、落下してけがをすることがあります。


*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。


- (1) リクライニングの固定が、されているかを確認して下さい。(P. 9参照)
- (2) シート後下の安全レバーを引きながら回し、安全ロックを解除して下さい。




- (3) バックサポートを持ちティルトレバーを押えると、座面が傾き（起きる／寝る）ます。
- (4) 適切な位置でレバーを放すと、固定できます。(座面角度で前傾5°～後傾20° または、後傾5°～後傾30° のいずれかでメーカー出荷時に設定済みです。)
- (5) 誤動作を防ぐ為、安全レバーを回して、ロックしておいて下さい。




注意  シートが傾斜しますので、指をはさまないように注意して下さい。

注意  頸部継手を持って操作しないで下さい。不意に傾きケガをすることがあります。

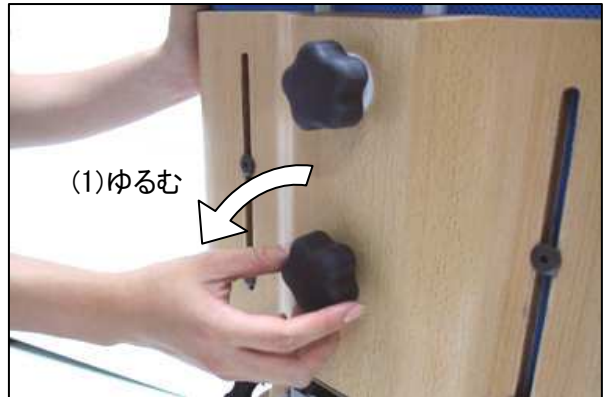
注意  ガスシリンダーの側面から力を加えないで下さい。機能なくなったりぐらつく場合があります。

10. リクライニング調整方法

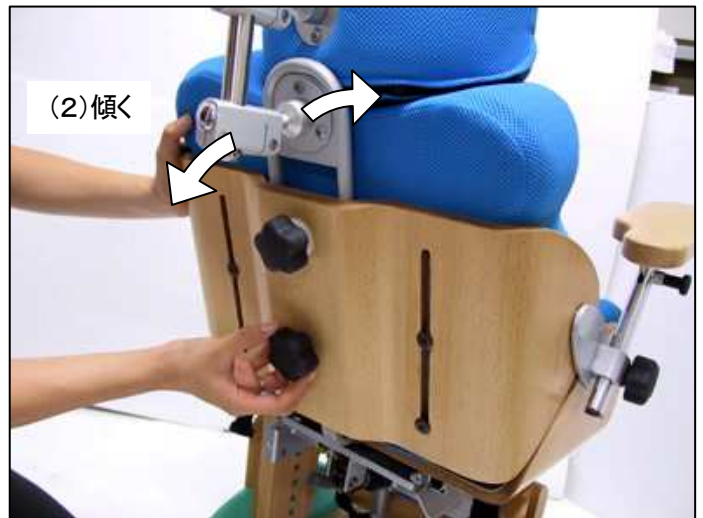
注意  身体支持部を持ちながら、操作を行って下さい。
不意に傾くと、顔などに当たる事があります。

*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。

(1) 片方の手で背もたれを持ちながら、
後ろのハンドルネジ（下）を、緩
めて下さい。




(2) バックサポートがフリーになり
ますので、適切な角度で止めて
下さい。



(3) 再びハンドルネジでしっかり
固定して下さい。



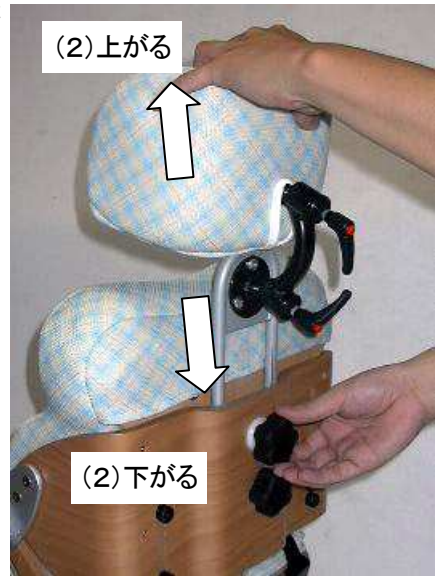
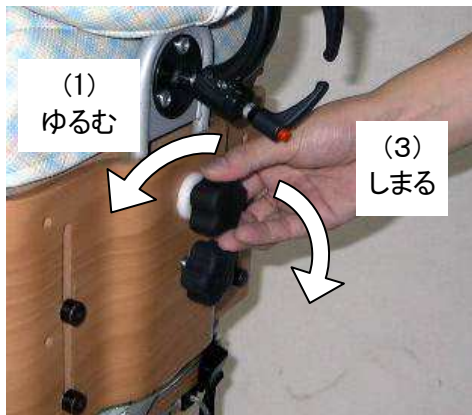
11. ヘッドサポートの調整方法

注意  ヘッドサポートを持ちながら、操作を行って下さい。
不意に傾くと、顔や頭がイスにあたる事があります。

*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。

1. 高さ調整

- (1) 片方の手でヘッドレストを持ちながら、バックサポート後ろのハンドルネジ（上）を緩めて下さい。
- (2) ヘッドサポートがフリーになりますので、高さを調整して下さい。
- (1) 適切な位置で止め、再びハンドルネジで固定して下さい。




2. 角度・前後調整

- (1) 片方の手でヘッドサポートを持ちながら、ヘッドサポート後ろの2箇所のレバーを緩めて下さい。
- (2) ヘッドサポートを適切な位置に調整し、再びレバーを締め込みしっかりと固定して下さい。



12. アームサポートの調整方法

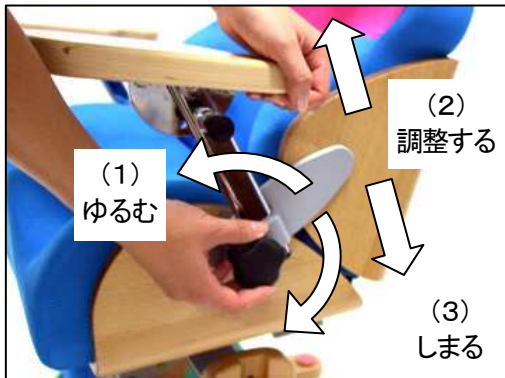
注意  アームサポートを持ちながら、操作を行って下さい。
不意に傾き、指を挟む事があります。

*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。

1. 高さ調整

- (1) 片方の手でアームサポートを持ちながら、側面のハンドルネジ（上）を緩めて下さい。
- (2) アームサポートがフリーになりますので、高さを調整して下さい。
- (3) 適切な位置で止め、再びハンドルネジで固定して下さい。

*左右の高さを合わせて下さい。高さが違うとオプションのテーブルが取付かない事があります。



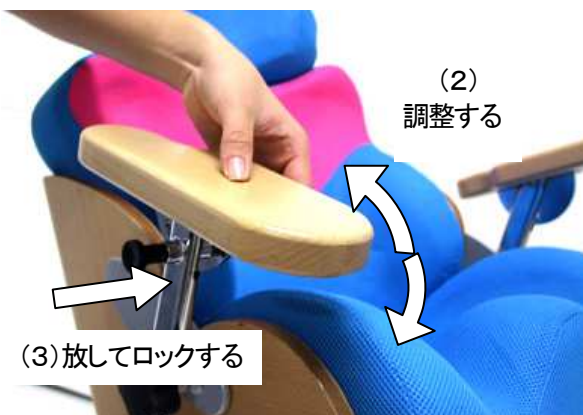
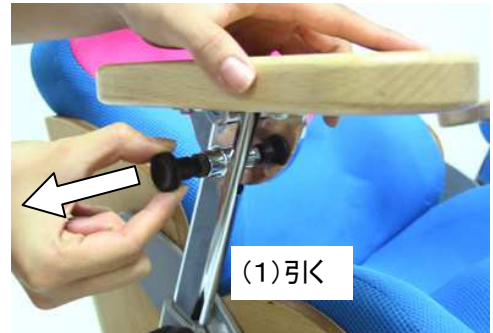
左右の
高さを、
合わせる



2. 角度調整

- (1) 片方の手でアームサポートを持ちながら、側面のピンを引いて下さい。
- (2) アームサポートがフリーになりますので、適切な角度に調整して下さい。
- (3) 再び、ピンを放してロックして下さい。

*左右の角度を合わせて下さい。角度が違くとオプションのテーブルが取り付けません。



角度を合わせる
この状態ではテーブル
は取り付けかない。



13. フットサポートの調整方法

注意

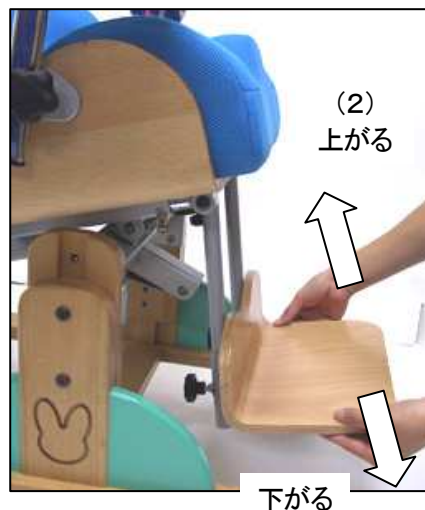


フットサポートを持ちながら操作を行って下さい。落下してけがをする事があります。フットサポートの左右の角度や高さを合わせて下さい。左右の角度や高さが違うと、無理な力が加わりフットサポートが破損する事があります。

*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。

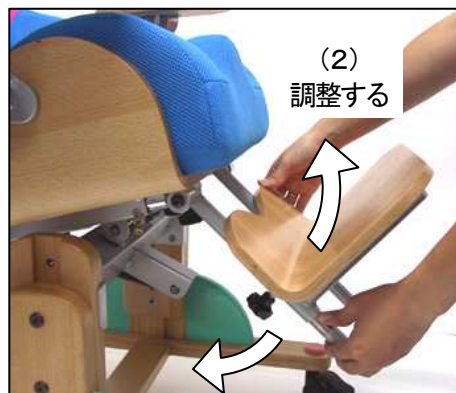
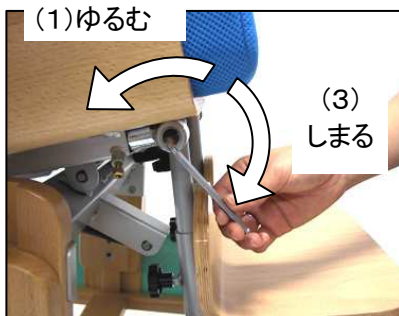
1. 高さ調整

- (1) 片方の手でフットサポートを持ち、フットサポート裏面のハンドルネジを、左右とも緩めて下さい。
- (2) フットサポートがフリーになりますので、高さを調整して下さい。
- (3) 適切な位置で止め、再びハンドルネジでしっかり固定して下さい。



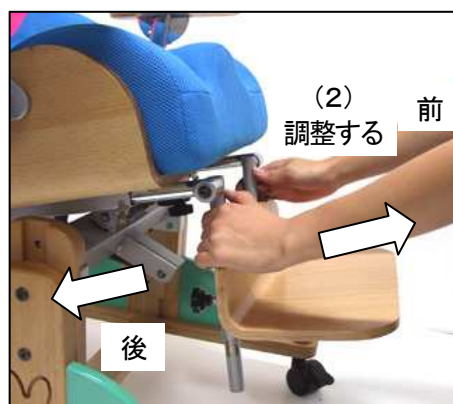
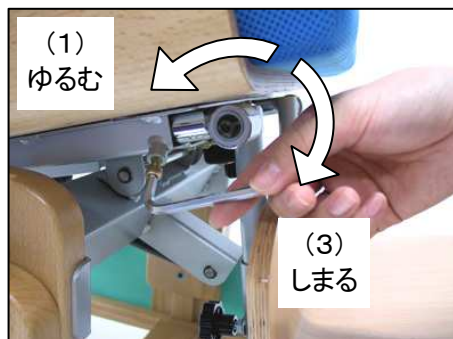
2. 角度調整

- (1) 片方の手でフットサポートを持ちながら、付属のL型レンチ（大）で、左右のネジを緩めて下さい。
- (2) フットサポートがフリーになりますので、適切な角度に調整して下さい。
- (3) 付属のL型レンチ（大）で、左右のネジをしっかりと締めこんで下さい。




3. 奥行調整

- (1) 付属のL型レンチ（大）で、左右の奥のネジを緩めて下さい。
- (2) フットサポートがフリーになりますので、適切な位置に調整して下さい。
- (3) 付属のL型レンチ（大）で、左右のネジをしっかりと締めこんで下さい。

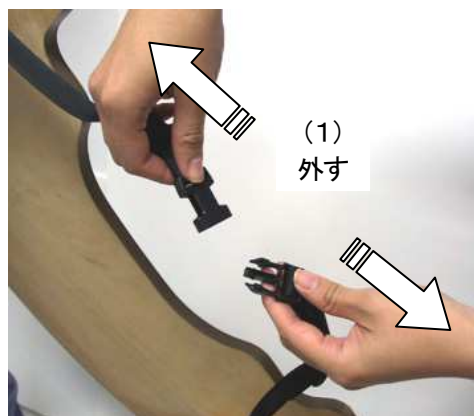


1.4. テーブルの取り付け・取り外し方法

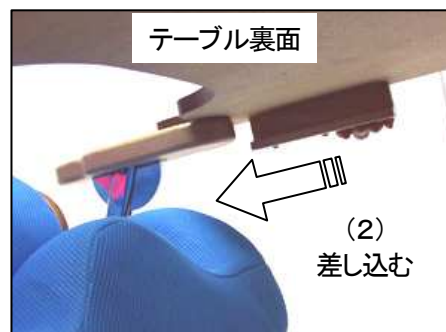
注意  左右のアームサポートの、高さ・角度を合わせておいて取り付けして下さい。
無理に取り付けるとテーブルが、破損する事があります。

1. 取り付け方

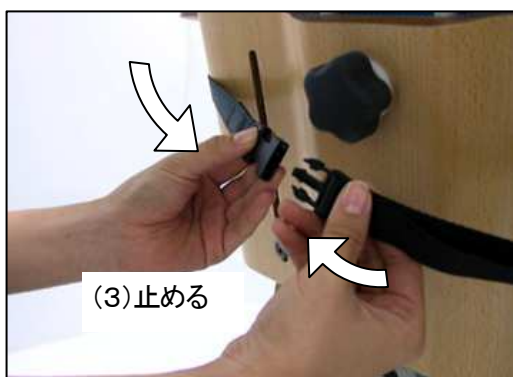
(1) テーブルのベルト止めを外して下さい。



(2) アームサポートにテーブルの裏面を引っ掛ける様にして前から差し込んで下さい。



(3) 背もたれ裏面のベルトを止めて固定して下さい。
*ベルトの長さが長い場合は、調整して下さい。



2. 外し方

(1) バックサポート裏面のベルト止めを外して下さい。

(2) テーブルを手前に引けば取り外せます。



15. 内転防止サポートの取り付け・取り外し方法

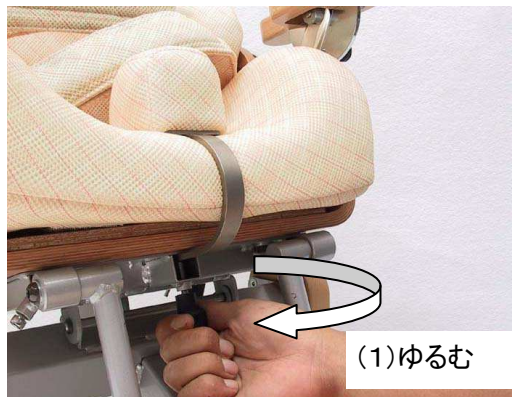
注意



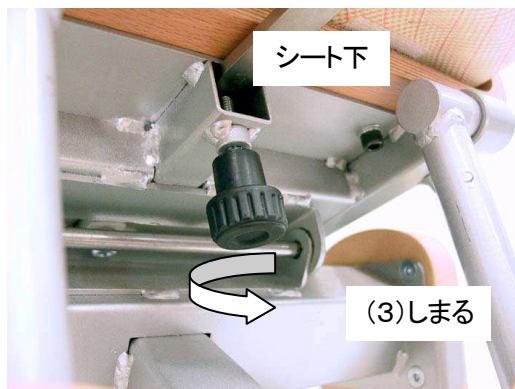
内転防止サポートは確実に取り付けてください。
取り付けが悪いと、転倒してけがをすることがあります。

1. 取り付け方法

- (1) シート下のハンドルネジを緩めます。
(緩めるだけで、外す必要はありません)
- (2) 内転防止サポートを座面下中央の金具に差し込みます。



(3) シート下のハンドルネジをしっかり締め込みます。(ガタツキがないようにしっかり締めて下さい)



2. 取り外し方法

- (1) シート下のハンドルネジを緩めます。
(緩めるだけで、外す必要はありません)
- (2) 内転防止サポートを手前に引き、外して下さい。



16. 成長対応の

お子さまの成長（身長伸び）に合わせて、座面の奥行、背もたれの高さが調整できます。

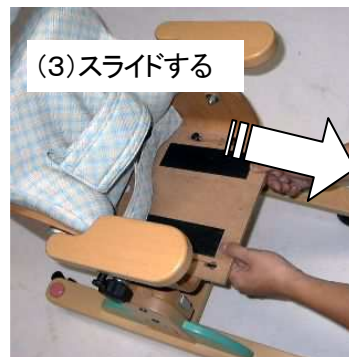
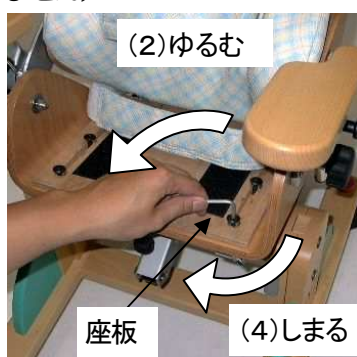
注意



この調整は、リハビリテーションスタッフ及び販売店で行って下さい。
調整を誤ると、姿勢が悪くなり2次障害をおこす事があります。

1. シートの調整（奥行調整）

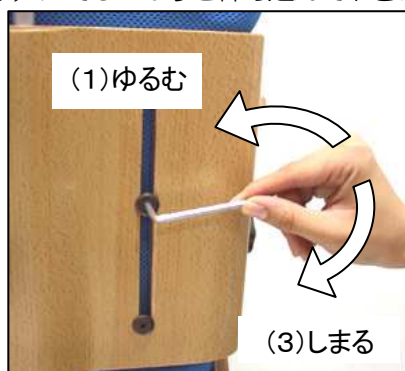
- (1) シート部分を持ち上げ取り外します。（面ファスナー止めです）
- (2) 座板取り付けネジ（4箇所）を、付属のL型レンチ（小）で緩めて下さい。
（緩めるだけで、外す必要はありません）



- (3) 座板部分をスライドし、適切な位置に奥行を調整して下さい。（約70mmの調整範囲があります）
*座面が傾くとスライドしにくくなりますので、まっすぐにスライドして下さい。
- (4) 再び座板取り付けネジ（4箇所）を、付属のL型レンチ（小）で、しっかりと締め込んで下さい。
- (5) 取り外したシートを、元に戻します。


2. バックサポートの調整（高さ調整）

- (1) 付属のL型レンチ（小）にて、バックサポート裏面下のネジ（4箇所）を緩めて下さい
（緩めるだけで、外す必要はありません）
- (2) バックサポートをスライドし、適切な位置に高さを調整して下さい（約70mmの調整範囲があります）
*バックサポートが傾くとスライドしにくくなりますので、まっすぐにスライドして下さい。
- (3) 再びバックサポート裏面のネジを、付属のL型レンチ（小）にてしっかりと締め込んで下さい。



17. 昇降フレームの反発力調整方法

お子さまの体重に合わせて、昇降部分のガスシリンダーの反発力を調整することができます。

警告  この調整は、販売店や専門家にて行って下さい。
調整を誤ると、けがをする事があります。

(1) ペダル下の安全レバーを固定側にして下さい。
(P. 7参照)

(2) 脚部底面にある軸ピンを止めている、スナップピンを引き抜きます。

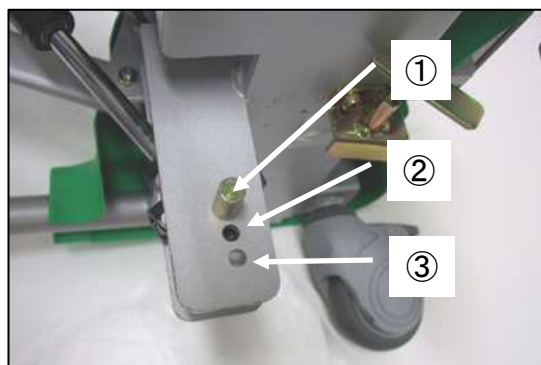
(3) 軸ピンを外して下さい。

(4) お子さまの体重に合わせて、取り付け位置を変更して下さい。
下記を目安に調整して下さい。


(①の位置＝体重：10～20kg)
座面高さ昇降範囲：345～645mm

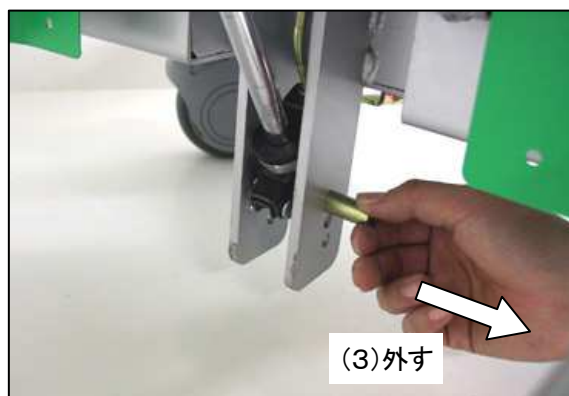
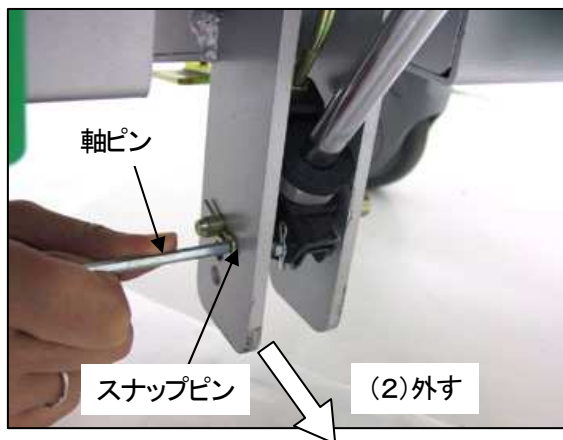
(②の位置＝体重：20～30kg)
座面高さ昇降範囲：345～600mm

(③の位置＝体重：30～40kg)
座面高さ昇降範囲：345～570mm



(4) 再びピンを差し込み、リングを取り付けて下さい。

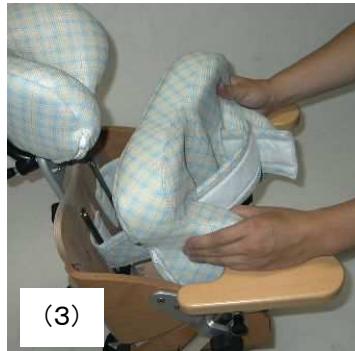
警告  ガスシリンダーに衝撃を与えないで下さい。
急にシリンダーが伸びたり、オイルが漏れたりすることがあります。



18. カバーの外し方

バックサポートカバーの外し方

- (1) 体幹サポートがある場合は、手前に引き抜き取り外します。
- (2) バックサポート上部を被せているカバーを、左右外します。
- (3) バックサポートを手前に引き抜き、取り外します。
- (4) ファスナーを開いて、クッションを取り出します。



シートカバーの外し方

- (1) シートクッションを持ち上げ取り外します。(面ファスナー止めです)
- (2) ファスナーを開いて、クッションを取り出します。



ヘッドサポートカバーの外し方

- (1) バックサポート後ろのハンドル(上)を緩め、ヘッドサポートを少し上げます。(調整方法はP. 10参照)
- (2) ヘッドサポート下の、ファスナーを開いてクッションを取り出します。



19. クッションの調整の仕方

お子さまの成長（身長伸び）に合わせて、シート幅、バックレスト幅が調整できます。

注意



この調整は、リハビリテーションスタッフ及び販売店で行って下さい。
調整を誤ると、姿勢が悪くなり2次障害をおこす事があります。

1. シート幅の調整の仕方

(1) P17 のカバーの外し方をご参照頂き、カバーからクッションを取り外します。

(2) 付属パッド（薄）と（厚）があり、それぞれをつける場合、2種類を取りつける場合で、幅を調整することが可能です。

ベース

(1)

(2)



ベース+薄+厚



ベース+厚



ベース+薄



ベースのみ

骨盤 狭い

骨盤 広い

1. バックサポート幅の調整の仕方

(1) P17 のカバーの外し方をご参照頂き、カバーからクッションを取り外します。

(2) 付属パッド（薄）と（厚）があり、それぞれをつける場合、2種類を取りつける場合で、幅を調整することが可能です。

ベース

(1)

(2)



ベース+厚+薄



ベース+厚



ベース+薄



ベースのみ

骨盤 狭い

骨盤 広い

20. ベルトの調整の仕方

お子さまの成長（身長伸び）に合わせて、胸ベルト、腰ベルトの長さが調整できます。

注意



この調整は、リハビリテーションスタッフ及び販売店で行って下さい。
調整を誤ると、姿勢が悪くなり2次障害をおこす事があります。

1. 胸ベルト長さの調整の仕方

(1) P17 のカバーの外し方をご参照頂き、身体支持部からバックサポートを取り外します。

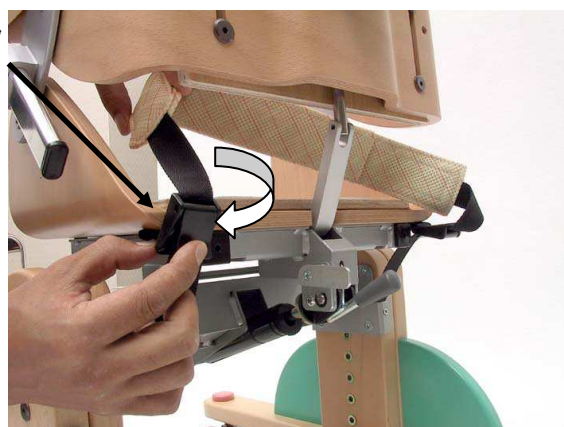
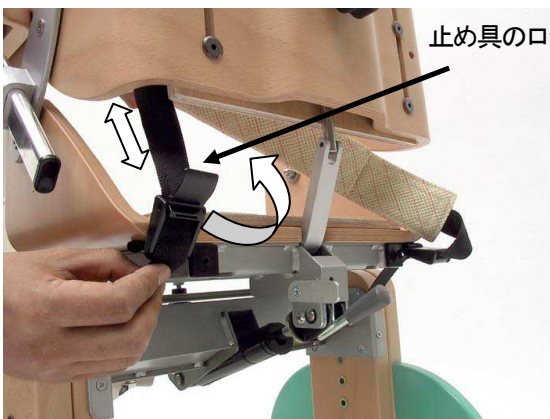
(2) ベルトを止めている押さえを+ドライバーでゆるめベルトの長さを調整します。調整した後は必ずしっかり+ドライバーでネジをしめなおしてください。



2. 骨盤ベルト長さの調整の仕方

(1) P17 のカバーの外し方をご参照頂き、身体支持部からシートを取り外します。

(2) 骨盤ベルトを止めている止め具のロックを解除してベルトの長さを調整します。調整した後は必ずしっかり止め具のロックをしてください。



21. 安全な使い方

警告



取り扱いを誤ると使用中に不具合を生じたり、けがをすることがあります。

1. 各種ベルトとサポート

(骨盤ベルト、胸ベルト、肩ベルト、体幹サポート)

お子さまの姿勢安定及び落下防止の為、必ず装着して下さい。

*たるみがある場合は調整して下さい。



2. プッシュハンドル

両手でしっかり持って操作して下さい。

*ハンドルは、介助者が使いやすい高さに調整できます。

(付属のL型レンチ(大)にて、ネジを緩め調整して下さい。)



3. キャスタ

移動しない場合は、必ずキャスタをロックしておいて下さい(P. 7参照)

警告



このいすは、室内の使用を目的にしていますので、室外での使用はできません。室外で使用するとキャスターが壊れ、転倒してけがをすることがあります。

4. 乗せ方


- (1) キャスタをすべてロックして下さい。
- (2) テーブルは外しておき、ベルト類は全て外して、開いておきます。
- (3) お子さまを乗せます。
- (4) テーブル、ベルト類を取り付けます。

5. 降し方

- (1) キャスタをすべてロックして下さい。
- (2) テーブル・ベルト類を全て外します。
- (3) お子さまを降します。

22. お手入れ方法

日常は下記のようにお手入れを行い、大切にお使い下さい。

注意  誤ったお手入れをしますと故障の原因になります。
異常を発見された場合はそのまま使用せず、弊社に相談して下さい。

1. 木製部分（身体支持部、アームサポート、フットサポート、テーブル）

- ・日常のお手入れは、乾いたやわらかい布で、から拭きして下さい。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取り、硬くしぼった布で洗剤が残らないように拭き取った後、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- ・シンナーやアルコール系の溶剤は、絶対に使用しないでください。
- ・テーブルの上で、カッターなどを直接ご使用になることは避けてください。
- ・天板に熱いポットや湯飲みなどを直接置くことは避けて下さい。高温により、変形や変色をすることがあります。
- ・ゴム脚のついた商品を長時間置いておくと、表面に跡がのこりますので注意して下さい。
- ・かたい物（機器、陶器、金属製の物）を引きずらないで下さい、表面を傷つけることがあります。

2. クッション部分（シート、バックサポート、ヘッドサポート、各種サポート類）

- ・ほこりなどの汚れは、ブラシなどで軽くブラッシングして下さい。
- ・飲み物をこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。そのまま放置しますと汚れがとれなくなります。
- ・シンナーやアルコール系の溶剤は、絶対に使用しないでください。（生地をいためます）

カバーは、洗濯できます。

- ・クッションを取り外し、ファスナーを開いてカバーを取り外してから、洗濯して下さい。
- ・面ファスナーは、生地に絡みやすいので、面ファスナーを固定して洗濯して下さい。
- ・カバーの素材は、ポリエステル100%です。

洗濯方法



*手洗いのみです（水温上限30℃、中性洗剤が使えます）、洗濯機では洗えません。

*塩素系漂白剤による漂白は、出来ません。

*アイロンは、使えません。

*ドライクリーニングは、できません。

*脱水機、手絞りは、しないで下さい。

*日陰に干して、乾かして下さい。

3. 金属部分（フレーム部分、他）


- ・日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取り、硬くしぼった布で洗剤が残らないように拭き取った後、柔らかい布で乾拭きして下さい。

23. 保管と廃棄方法

水分や直射日光等をさけ、日陰で保管して下さい。

各自治体の指示にしたがい廃棄処分して下さい。

24. ご使用前の点検チェックリスト

注意  本製品に破損や異常がないか、ご使用前に必ず各部を点検して下さい。異常状態のまま、絶対に使用しないで下さい。

[ご使用前に必ず次の点検を行って下さい。]

チェック項目	日付	年	年	年	年	年	年
		月	月	月	月	月	月
	日	日	日	日	日	日	日
キャストのガタツキはないか							
各部品がゆるみやガタツキがなく取り付けられているか							
各ベルト類に損傷や裂け等はないか							
縫製部分のほつれはないか							
面ファスナー(「16. 成長対応の調整方法」、「18. カバーの外し方」記載)の接着不良はないか							
各部にひび割れや欠け、変形等はないか							
各部のネジやカシメ部分に、ゆるみやガタツキはないか							
その他の異常はないか							

万一破損や異常が発生した場合はそのまま使用せず、必ず弊社にご連絡下さい。

パシフィックサプライ(株)本社営業部

TEL:072-875-8011 FAX:072-875-8015

異常状態のまま、絶対に使用しないで下さい。

本頁はコピーして点検にご利用下さい。

25. 保証規定

I. 保証の範囲

1. 保証期間中に品質の不完全に基づく故障を生じた場合は、この保証書により無料で修理致します。
2. 保証期間はご購入後1年間です。
3. 但し、次の場合は保証期間中でも有料になります。
 - (a) 取り扱い過誤による故障
 - (b) 製品に改良を加えた場合の故障
 - (c) 天災、地震等による故障
 - (d) 消耗部品及び各部の劣化による故障・損傷
 - (e) 保証書にお買い上げ日の記入や、お名前がない場合
 - (f) 保証書のご提示がない場合
4. 以上の保証は日本国内においてのみ有効です。
5. この保証によってお客様の法律上の権限を制限するものではありません。

II. サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合は、販売業者へ保証書を添えてお申し出下さい。

III. ご注意

保証書の再発行は致しませんので大切に保管して下さい。(取扱説明書の再発行は致します。)

<h2>品質保証書</h2>			
本製品については上記記載の「保証規定」により正常な使用状態において、故障が生じた場合限りお買い上げ日より「1年間」無償で修理致します。			
機種名		ハートリーフチェアー・FS(昇降タイプ)	
お客様	ご住所		
	電話		
	お名前		
お買い上げ日	平成 年 月 日	保証期間	購入日より 1年
			担当者 印
住所：〒574-0064 大阪府大東市御領1丁目12番1号 TEL:072-875-8011 FAX:072-875-8015			

(販売元)

パシフィックサプライ株式会社

本社営業部 〒574-0064 大阪府大東市御領 1-12-1
TEL 072 (875) 8011 FAX 072 (875) 8015

札幌営業所 〒060-0051 札幌市中央区南1条東6-2-12松浦ビル1F
TEL 011 (218) 5801 FAX 011 (218) 5805

盛岡出張所 TEL 019 (661) 5407 FAX 019 (661) 5408

東京営業所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-3-12 グレイスビル2F
TEL 03 (3352) 0757 FAX 03 (3355) 3154

名古屋営業所 〒486-0946 愛知県春日井市勝川町西3-5
TEL 0568 (34) 2696 FAX 0568 (34) 2697

広島営業所 〒733-0035 広島市西区南観音 7-5-13 日ヶ丘ビル中田1F
TEL 082 (293) 6255 FAX 082 (293) 6299

福岡営業所 〒812-0054 福岡市東区馬出2-2-12
TEL 092 (641) 8151 FAX 092 (641) 0444

<http://www.p-supply.co.jp/>

不許複製

ハートリーフェアーFS(昇降タイプ)取扱説明書
No.HLCFS(昇降)-05年11月第1版

姿勢保持装置



heart leaf chair FS

ハート・リーフ・チェア FS

ハート・リーフ・チェア エフ エス

木製タイプ取扱説明書



この度は、ハートリーフチェアFSをお買い上げいただきありがとうございます。

この説明書は、本製品の機能を十分に生かす操作方法や、安全にご使用いただく為の注意事項などを記載しています。

ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、その後はこの説明書を大切に保管し必要に応じて繰り返しお読み下さい。

k Pacific Supply

ハートリーフチェアー・FSとは……………

ハート(heart)は、心・愛情・おもいやりを表し、両親や兄弟の愛情と、私たち(KAWAMURA)のこの商品に対する情熱・気持ちを表現しています。

リーフ(leaf)は、葉(木)を表し、やわらかで、あたたかみのある木材(ブナ材)をベースにした商品をイメージしています。

また、「葉」(特に若葉)は生命力の象徴とされています。葉が芽吹いた時、ちょうど子どもが生を受けて育ち始める大切な時期、このハートリーフ商品と一緒に生きる力・豊かな生活・人生を家族と一緒に育んでいって欲しい……………

こんな思い入れから生まれた姿勢保持装置です。



もくじ

1. 安全にご使用いただくために……………	P. 2
2. 構成部品と各部の名称……………	P. 4
3. オプション……………	P. 5
4. 仕様……………	P. 5
5. 調整機能……………	P. 6
6. ご使用前の点検・準備……………	P. 6
7. キャスタのロック方法……………	P. 7
8. 高さ調整方法……………	P. 7
9. ティルト調整方法……………	P. 8
10. リクライニング調整方法……………	P. 9
11. ヘッドサポート調整方法……………	P. 10
12. アームサポート調整方法……………	P. 11
13. フットサポート調整方法……………	P. 12
14. テーブルの取り付け・取り外し方法……………	P. 13
15. 内転防止サポートの取り付け・取り外し方法……………	P. 14
16. 成長対応の調整方法……………	P. 15
17. カバーの外し方……………	P. 16
18. クッションの調整の仕方……………	P. 17
19. ベルトの調整の仕方……………	P. 18
20. 安全な使い方……………	P. 19
21. お手入れ方法……………	P. 20
22. 保管と廃棄方法……………	P. 20
23. ご使用前の点検チェックリスト……………	P. 21
24. 保証規定……………	P. 22

1. 安全にご使用いただくために

警告



この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

本項目は、P. 4の「2. 構成部品と各部の名称」と併せて、お読み下さい。

- (1) 介護者をお願いします。本製品を使用中は、目を離さないで下さい。そして、次のようなことに注意して頂き、安全にご使用願います
- (2) 介助者は、使用方法や取扱注意事項等が理解できるまで、ご使用にならないで下さい。
- (3) 使用前には必ず保守点検（P. 6 ご使用前の点検）を行って下さい。また、保守点検を行っていない場合は使用しないで下さい。
- (4) 使用中はキャスト（「2. 構成部品と各部の名称」－⑥）のロックが確実にきいていることをたえず確認しながら使用して下さい。キャストのロックがきいていない場合、介助者がいすを制御できなくなる恐れがあります。
- (5) 必ずキャストのロックをかけて下さい。不意に動き出すことがあります。
- (6) この商品は移動を目的にした商品ではありません、お子様を乗せたまま移動すると本体が壊れ落下することがあります。
- (7) プッシュハンドル（「3. オプション」－⑥）を持って運ばないで下さい。持ち上げた際ハンドルが抜ける恐れがあります。
- (8) フットサポート（「2. 構成部品と各部の名称」－④）の上に立たないで下さい。転倒する恐れがあります。
- (9) シート（「2. 構成部品と各部の名称」－⑤）の上に立たないで下さい。ぐらついて転倒する恐れがあります。
- (10) 踏台や脚立のかわりに使用しないで下さい。転倒する恐れがあります。
- (11) 身体を乗り出す等すると、いすごと転倒する恐れがあります。
- (12) 車などに搭載する場合は、2人で作業を行って下さい。1人で持ち上げると手が滑って落下し作業者がけがをすることがあります。またお子さまが本製品に乗った状態で、本製品を車に搭載しないで下さい。
- (13) 身体支持部（「2. 構成部品と各部の名称」－⑧）の調整（高さ調整や、ティルト調整など）する場合は確認しながら行って下さい、指を挟んだり、お子さまが落下することがあります。
- (14) ガスシリンダー（「9. ティルト調整方法」記載）の側面から力を加えないで下さい。ティルト調整の機能しなくなったりぐらつく場合があります。

(15) 修理が必要となった場合は必ず弊社へご連絡下さい。分解や改造はしないで下さい。

(16) 異常と思われたら、直ちに使用を中止して、弊社へご連絡願います。

注意



この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- (1) ティルト調整時や上下昇降調整時に、フットサポートを床にぶつけないようにして下さい。けがをしたり床やフットサポートが破損する恐れがあります。
- (2) 本製品の耐荷重は40kg未満（手荷物等の積載物を含む）です。40kg以上では使用しないで下さい。
- (3) 直射日光のあたる場所や炎天下の車内に長時間放置したり、熱器具（ストーブ等）の近くで使用しないで下さい。不意に動き出したり、熱により変色や変形する恐れがあります。

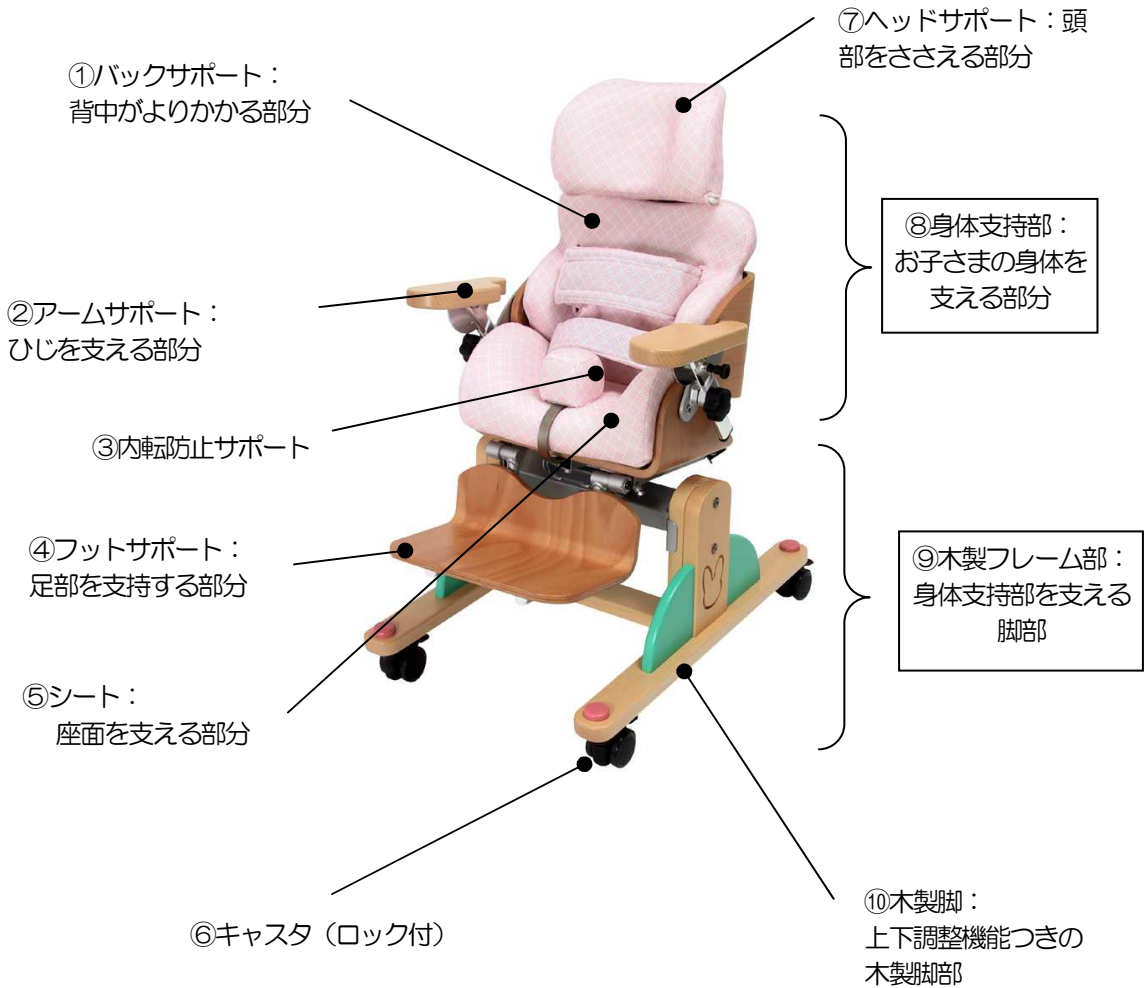
重要なお知らせ

本製品を使う上でのご注意と、本取扱説明書の重要なお知らせです。

- (1) 本書は製品とともに常に手元に保管し、必要に応じてくりかえし読んで下さい。
- (2) 製品の不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄については弊社まで問い合わせして下さい。
- (3) 本製品は改良のため予告なしに変更する場合があります。
- (4) 本書で説明・表記した方法以外での使い方はしないで下さい。
- (5) 本書中の図や写真は説明優先の為に、一部を省略したり抽象化した表現になっているものがあります。
- (6) 本書を紛失または損傷した場合は速やかに弊社までご連絡下さい。
(ただし、製品の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。)
- (7) 本書の内容に関しましては、ご不明な点や誤り、乱丁、落丁記載漏れなどに気付いた場合は弊社までご連絡下さい。

2. 構成部品と各部の名称

本製品は、下記の部品で構成されています。



その他付属品：L型レンチ（大）（小）各1本………身体支持部のシート下に収納しています。

3. オプション

本製品には、使用目的や症状に合わせて下記のようなオプションを用意しています。

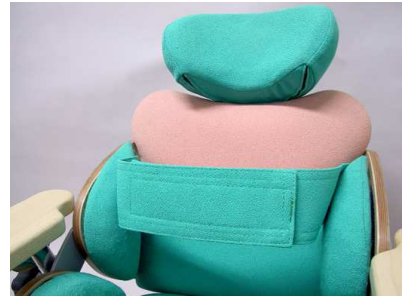
①テーブル



②骨盤ベルト



③胸ベルト



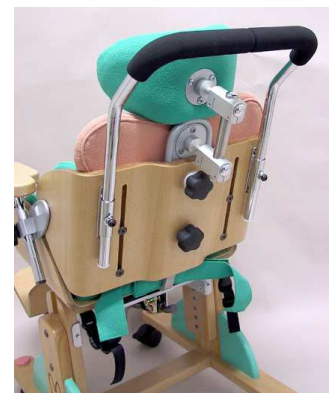
④肩ベルト



⑤体幹サポート



⑥プッシュハンドル



4. 仕様

本製品の仕様は下記の通りです。

- サイズ（座幅）：Sサイズは 160～220mm、Mサイズは210～270mm、Lサイズは260～320mm の範囲で、調整できます。
- 材 質：背・座・フットサポート＝ブナ成形合板、ポリウレタン塗装（クリアー色）
：脚・アームサポート：ブナ材、ポリウレタン塗装（クリアー色）
- キャスター：φ50リフトロックキャスター（4輪）
- 座面高さ調整：木製標準フレーム 420～520mm（P=25mm）ネジ式、
木製低床フレーム 345mm・370mm
- ティルト：前傾5°～後傾20° と、後傾5°～後傾30° が選べます。
（任意位置）ガスシリンダー式
- リクライニング：90°～110°（任意位置）ハンドルレバー式
- ヘッドサポート高さ・角度・前後調整：（任意位置）ハンドルレバー式
- アームサポート高さ調整：170～215mm（任意位置）ハンドルレバー式
角度調整：0～40°（P=10°）ピン式
- 重 量：約23kg
- 耐荷重：40kg（手荷物の積載物を含む）

5. 調整機能

本製品には以下の調整機能があります。

1. 高さ調整
身体支持部の高さを使いやすい高さに調整できます。……………調整方法 (P. 7) 参照
2. ティルト機構
身体支持部の傾きを調整できます。……………調整方法 (P. 8) 参照
3. リクライニング機構
背もたれの角度を調整することができます。……………調整方法 (P. 9) 参照
4. ヘッドサポート調整
ヘッドサポートの高さや角度・前後調整ができます。……………調整方法 (P. 10) 参照
5. アームサポート調整
アームサポートの高さ・角度が調整できます。……………調整方法 (P. 11) 参照
6. フットサポート調整
フットサポートの高さ・角度が調整できます。……………調整方法 (P. 12) 参照
7. キャスタのロック機構
キャスタをロックすることができます。……………操作方法 (P. 7) 参照
8. クッション幅の調整
シート・バックサポート幅を調整することができます。…操作方法 (P. 17) 参照
9. ベルトの長さ調整
ベルトの長さを調整することができます。……………操作方法 (P. 18) 参照

6. ご使用前の点検・準備

注意



本製品に破損や異常がないか、ご使用前に必ず各部を点検して下さい。異常状態のまま、絶対に使用しないで下さい。

[ご使用前に必ず次の点検を行って下さい。]

- (1) キャスタのガタツキはないか
- (2) 各部品がゆるみやガタツキがなく取り付けられているか
- (3) 各ベルト類に損傷や裂け等はないか
- (4) 縫製部分のほつれはないか
- (5) 面ファスナー(「16. 成長対応の調整方法」、「17. カバーの外し方」記載)の接着不良はないか
- (6) 各部にひび割れや欠け、変形等はないか
- (7) 各部のネジやカシメ部分に、ゆるみやガタツキはないか
- (8) その他の異常はないか

万一破損や異常が発生した場合はそのまま使用せず、必ず弊社にご連絡下さい。

パシフィックサプライ(株)本社営業部


TEL:072-875-8011

FAX:072-875-8015

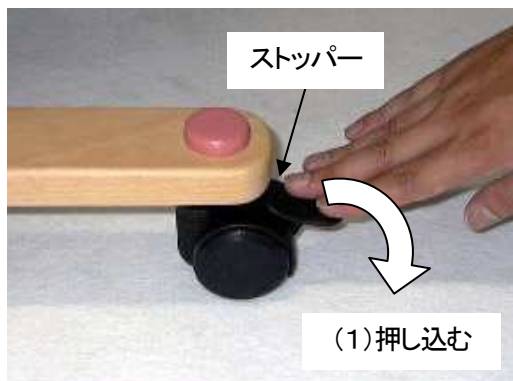
異常状態のまま、絶対に使用しないで下さい。

※点検には「23. ご使用前の点検チェックリスト」をご利用下さい。

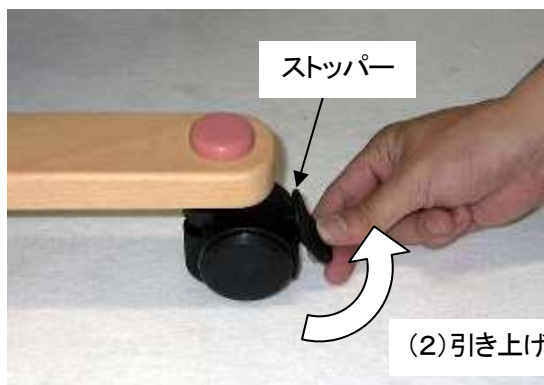
7. キャスタのロック方法

注意  操作する場合は、指などを挟まないように注意して下さい。

(1) キャスタ上部のストッパー先端を、押し込むと、固定します。




(2) キャスタ上部のストッパーを、引き上げると、解除できます。



*このキャスタは、車輪部分をやや浮かすようにしてロックする構造です、本体を押えながら操作すると固定しにくくなります。その場合は本体から手を離して操作して下さい。

8. 高さ調整方法

警告  必ずお子さまを降ろしてから作業を行ってください。落下してけがをすることがあります。

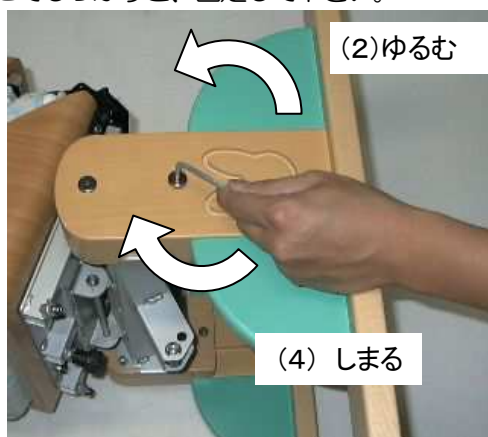
(1) 本体を横に寝かせます。

(2) 脚部のネジ（4本）を付属のL型レンチ（小）を使い外します。


(3) 脚部をスライドし高さを設定して下さい。

（木製標準フレームは、座面高さで420mmにセットされています。必要に応じて445mm、470mm、495mm、520mmに調整できます。木製低床フレームは、345mmにセットされています。必要に応じて370mmに調整できます。）

(4) 再び、ネジ（4本）を、付属のレンチ（小）にてしっかりと、固定して下さい。

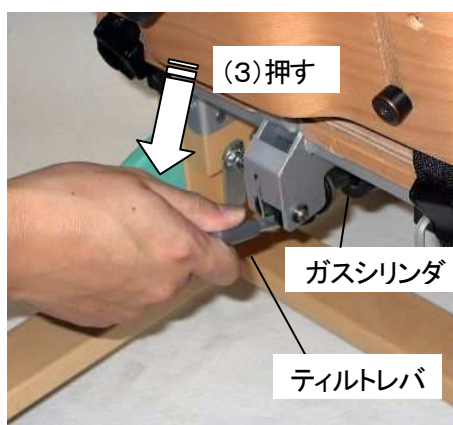


9. ティルト調整方法

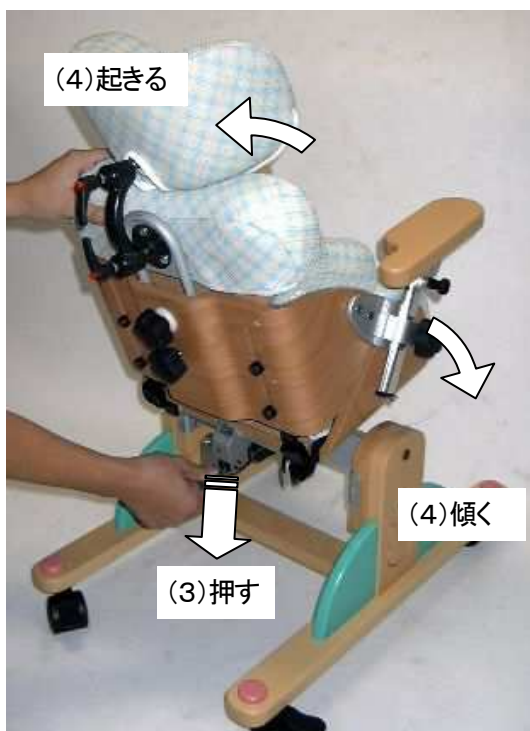
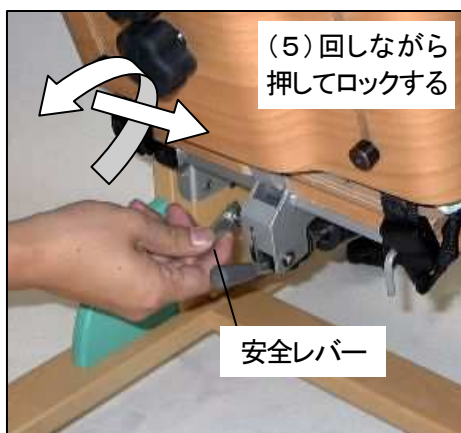
注意  身体支持部を持ちながら、操作を行って下さい。
不意に傾き、落下してけがをすることがあります。


*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。


- (1) リクライニングの固定が、されているかを確認して下さい。(P. 9参照)
- (2) シート後下の安全レバーを引きながら回し、安全ロックを解除して下さい。




- (3) バックサポートを持ちティルトレバーを押えると、座面が傾き（起きる／寝る）ます。
- (4) 適切な位置でレバーを放すと、固定できます。(座面角度で前傾5°～後傾20° または、後傾5°～後傾30° のいずれかでメーカー出荷時に設定済みです。)
- (5) 誤動作を防ぐ為、安全レバーを回して、ロックしておいて下さい。




注意  シートが傾斜しますので、指をはさまないように注意して下さい。

注意  頸部継手を持って操作しないで下さい。不意に傾きケガをすることがあります。

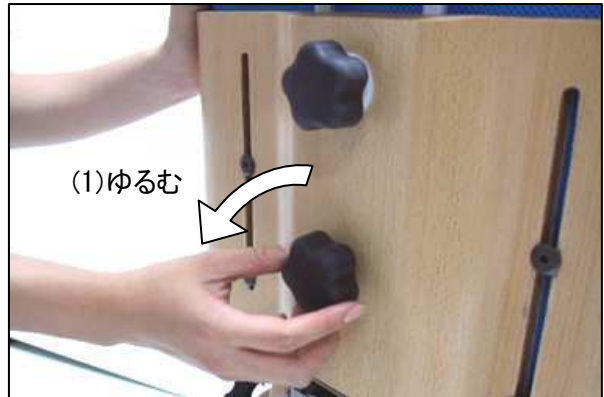
注意  ガスシリンダーの側面から力を加えないで下さい。機能しなくなったりぐらつく場合があります。

10. リクライニング調整方法

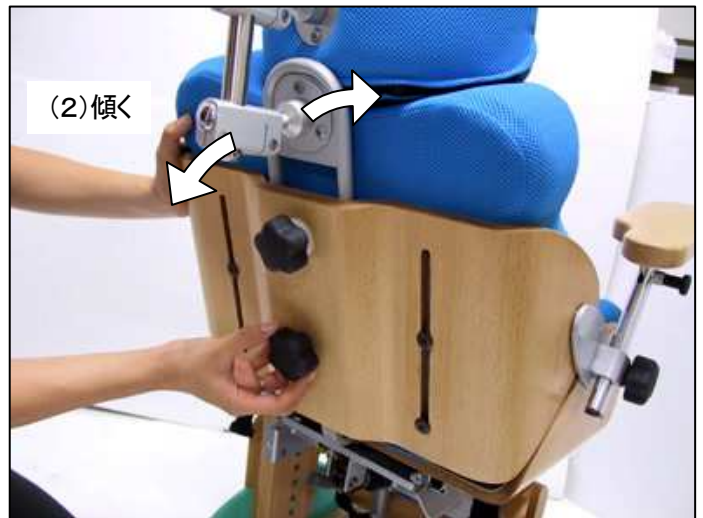
注意  身体支持部を持ちながら、操作を行って下さい。
不意に傾くと、顔などに当たる事があります。

*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。

(1) 片方の手で背もたれを持ちながら、
後ろのハンドルネジ（下）を、緩
めて下さい。




(2) バックサポートがフリーになり
ますので、適切な角度で止めて
下さい。



(3) 再びハンドルネジでしっかり
固定して下さい。



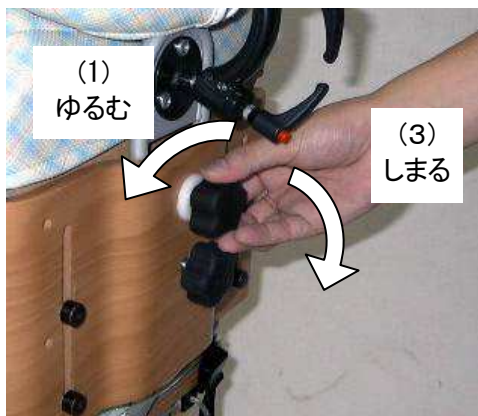
1.1. ヘッドサポートの調整方法

注意  ヘッドサポートを持ちながら、操作を行って下さい。
不意に傾くと、顔や頭がイスにあたる事があります。

*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。

1. 高さ調整

- (1) 片方の手でヘッドサポートを持ちながら、バックサポート後ろのハンドルネジ（上）を緩めて下さい。
- (2) ヘッドサポートがフリーになりますので、高さを調整して下さい。
- (3) 適切な位置で止め、再びハンドルネジで固定して下さい。




2. 角度・前後調整

- (1) 片方の手でヘッドサポートを持ちながら、ヘッドサポート後ろの2箇所のレバーを緩めて下さい。
- (2) ヘッドサポートを適切な位置に調整し、再びレバーを締め込みしっかりと固定して下さい。



12. アームサポートの調整方法

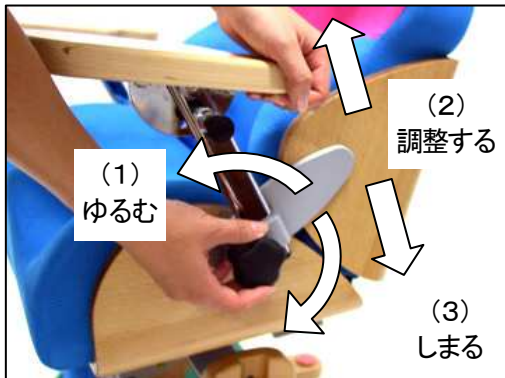
注意  アームサポートを持ちながら、操作を行って下さい。
不意に傾き、指を挟む事があります。

*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。

1. 高さ調整

- (1) 片方の手でアームサポートを持ちながら、側面のハンドルネジ（上）を緩めて下さい。
- (2) アームサポートがフリーになりますので、高さを調整して下さい。
- (3) 適切な位置で止め、再びハンドルネジで固定して下さい。

*左右の高さを合わせて下さい。高さが違うとオプションのテーブルが取付かない事があります。



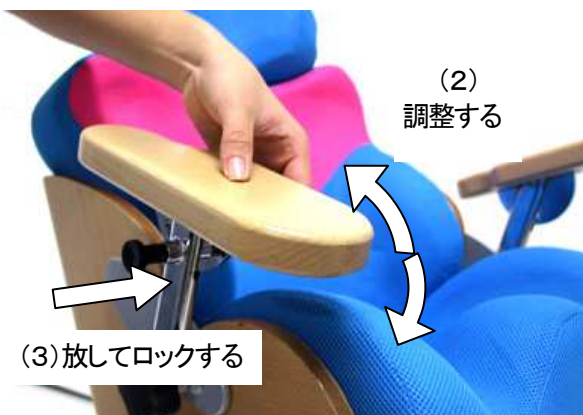
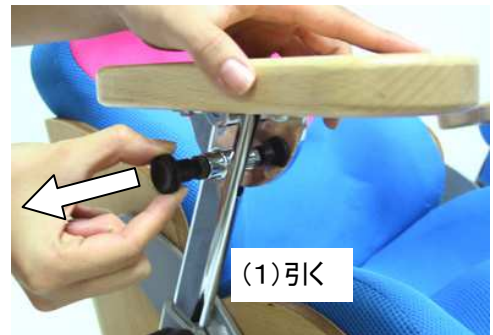
左右の
高さを、
合わせる



2. 角度調整

- (1) 片方の手でアームサポートを持ちながら、側面のピンを引いて下さい。
- (2) アームサポートがフリーになりますので、適切な角度に調整して下さい。
- (3) 再び、ピンを放してロックして下さい。


*左右の角度を合わせて下さい。角度が違くとオプションのテーブルが取り付けません。



角度を合わせる
この状態ではテーブル
は取り付けかない。



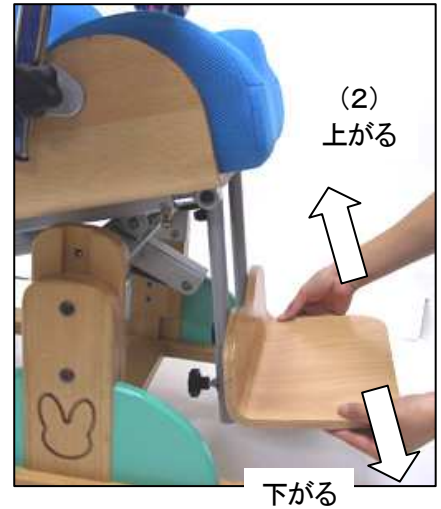
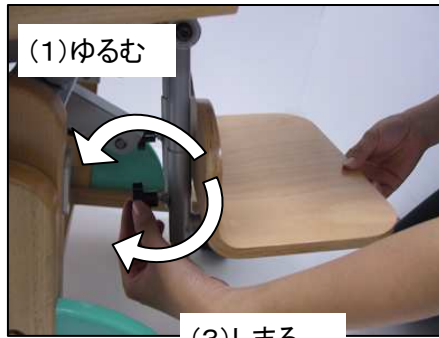
13. フットサポートの調整方法

注意  フットサポートを持ちながら操作を行って下さい。落下してけがをする事があります。フットサポートの左右の角度や高さを合わせて下さい。左右の角度や高さが違うと、無理な力が加わりフットサポートが破損する事があります。

*適切な位置については、リハビリテーションスタッフにご相談下さい。

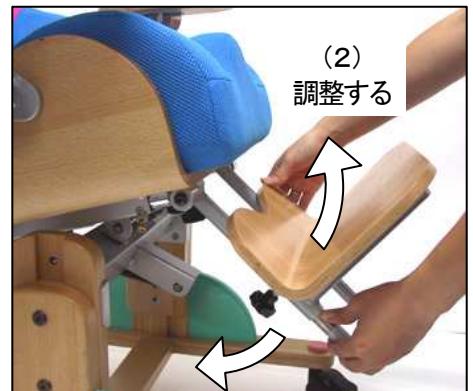
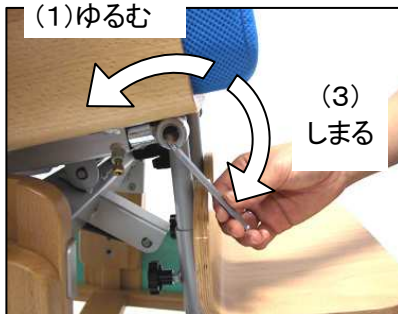
1. 高さ調整

- (1) 片方の手でフットサポートを持ち、フットサポート裏面のハンドルネジを、左右とも緩めて下さい。
- (2) フットサポートがフリーになりますので、高さを調整して下さい。
- (3) 適切な位置で止め、再びハンドルネジでしっかり固定して下さい。



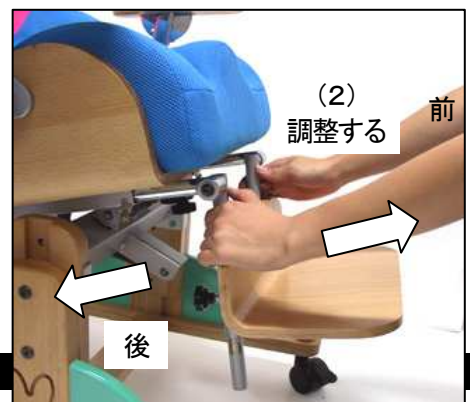
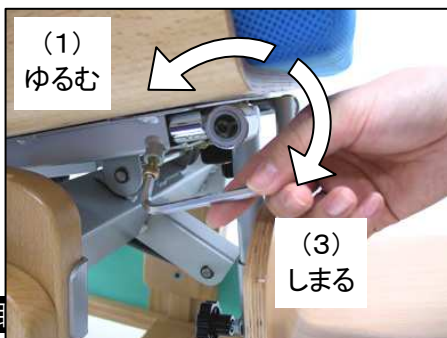
2. 角度調整

- (1) 片方の手でフットサポートを持ちながら、付属のL型レンチ（大）で、左右のネジを緩めて下さい。
- (2) フットサポートがフリーになりますので、適切な角度に調整して下さい。
- (3) 付属のL型レンチ（大）で、左右のネジをしっかりと締めこんで下さい。



3. 奥行調整

- (1) 付属のL型レンチ（大）で、左右の奥のネジを緩めて下さい。
- (2) フットサポートがフリーになりますので、適切な位置に調整して下さい。
- (3) 付属のL型レンチ（大）で、左右のネジをしっかりと締めこんで下さい。



14. テーブルの調整方法

注意



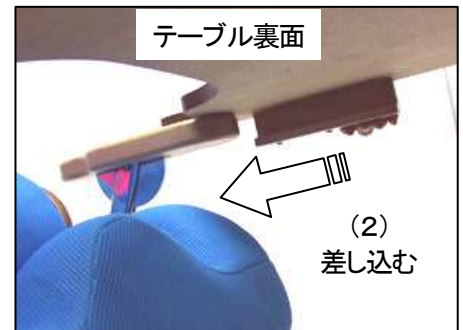
左右のアームサポートの、高さ・角度を合わせておいて取り付けて下さい。
無理に取り付けるとテーブルが、破損する事があります。

1. 取り付け方

(1) テーブルのベルト止めを外して下さい。

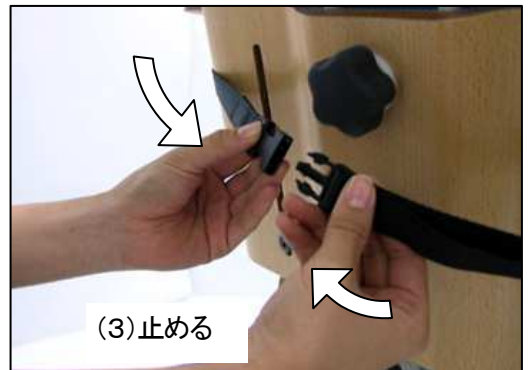


(2) アームサポートにテーブルの裏面を引っ掛ける様にして前から差し込んで下さい。



(3) バックサポート裏面のベルトを止めて固定して下さい。

*ベルトの長さが長い場合は、調整して下さい。




2. 外し方

(1) バックサポート裏面のベルト止めを外して下さい。

(2) テーブルを手前に引けば取り外せます。

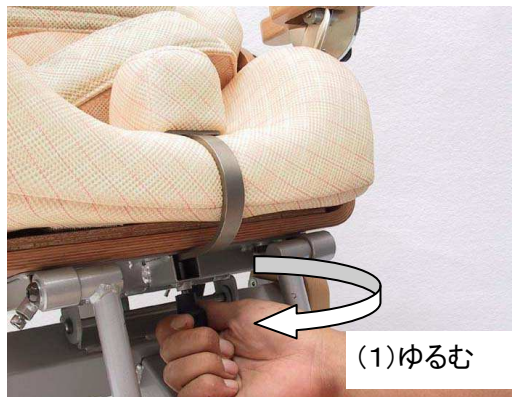


15. 内転防止サポートの取り付け・取り外し方法

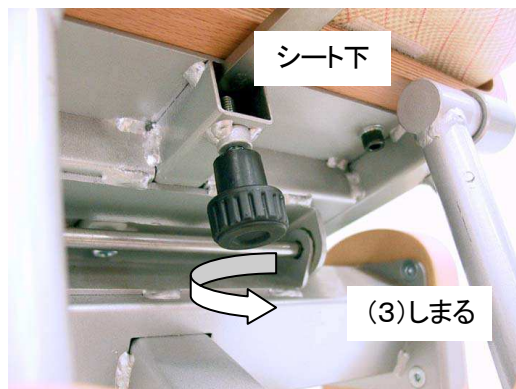
注意  内転防止サポートは確実に取り付けてください。
取り付けが悪いと、転倒してけがをすることがあります。

1. 取り付け方法

- (1) シート下のハンドルネジを緩めます。
(緩めるだけで、外す必要はありません)
- (2) 内転防止サポートを座面下中央の金具に差し込みます。



(3) シート下のハンドルネジをしっかり締め込みます。(ガタツキがないようにしっかり締めて下さい)



2. 取り外し方法

- (1) シート下のハンドルネジを緩めます。
(緩めるだけで、外す必要はありません)
- (2) 内転防止サポートを手前に引き、外して下さい。



16. 成長対応の調整方法

お子さまの成長（身長伸び）に合わせて、座面の奥行、背もたれの高さが調整できます。

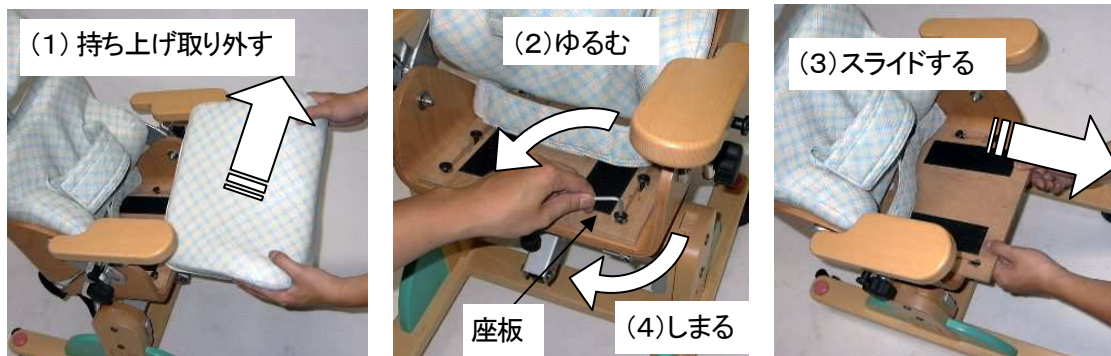
注意



この調整は、リハビリテーションスタッフ及び販売店で行って下さい。
調整を誤ると、姿勢が悪くなり2次障害をおこす事があります。

1. シートの調整（奥行調整）

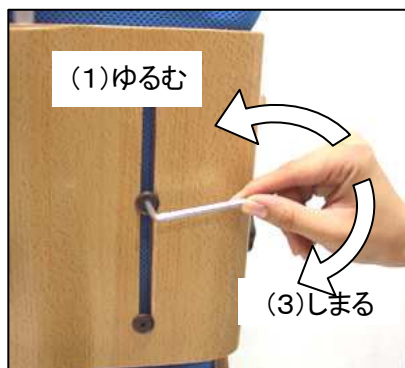
- (1) シート部分を持ち上げ取り外します。（面ファスナー止めです）
- (2) 座板取り付けネジ（4箇所）を、付属のL型レンチ（小）で緩めて下さい。
（緩めるだけで、外す必要はありません）



- (3) 座板部分をスライドし、適切な位置に奥行を調整して下さい。（約70mmの調整範囲があります）
*座面が傾くとスライドしにくくなりますので、まっすぐにスライドして下さい。
- (4) 再び座板取り付けネジ（4箇所）を、付属のL型レンチ（小）で、しっかりと締め込んで下さい。
- (5) 取り外したクッションを、元に戻します。

2. バックサポートの調整（高さ調整）

- (1) 付属のL型レンチ（小）にて、バックサポート裏面下のネジ（4箇所）を緩めて下さい
（緩めるだけで、外す必要はありません）
- (2) バックサポートをスライドし、適切な位置に高さを調整して下さい（約70mmの調整範囲があります）
*バックサポートが傾くとスライドしにくくなりますので、まっすぐにスライドして下さい。
- (3) 再びバックサポート裏面のネジを、付属のL型レンチ（小）にてしっかりと締め込んで下さい。



17. カバーの外し方

バックサポートカバーの外し方

- (1) 体幹サポートがある場合は、手前に引き抜き取り外します。
- (2) バックサポート上部を被せているカバーを、左右外します。
- (3) バックサポートを手前に引き抜き、取り外します。
- (4) ファスナーを開いて、クッションを取り出します。



シートカバーの外し方

- (1) シートを持ち上げ取り外します。(面ファスナー止めです)
- (2) ファスナーを開いて、クッションを取り出します。



ヘッドサポートカバーの外し方

- (1) バックサポート後ろのハンドル(上)を緩め、ヘッドサポートを少し上げます。(調整方法はP. 10参照)
- (2) ヘッドサポート下の、ファスナーを開いてクッションを取り出します。



18. クッションの調整の仕方

お子さまの成長（身長伸び）に合わせて、シート幅、バックサポート幅が調整できます。

注意



この調整は、リハビリテーションスタッフ及び販売店で行って下さい。
調整を誤ると、姿勢が悪くなり2次障害をおこす事があります。

1. シート幅の調整の仕方

(1) P16のカバーの外し方をご参照頂き、カバーからクッションを取り外します。

(2) 付属パッド（薄）と（厚）があり、それぞれをつける場合、2種類を取りつける場合で、幅を調整することが可能です。

ベース

(1)

(2)



ベース+薄+厚



ベース+厚



ベース+薄



ベースのみ

骨盤 狭い

骨盤 広い

1. バックサポート幅の調整の仕方

(1) P16のカバーの外し方をご参照頂き、カバーからクッションを取り外します。

(2) 付属パッド（薄）と（厚）があり、それぞれをつける場合、2種類を取りつける場合で、幅を調整することが可能です。

ベース

(1)

(2)



ベース+厚+薄



ベース+厚



ベース+薄



ベースのみ

骨盤 狭い

骨盤 広い

19. ベルトの調整の仕方

お子さまの成長（身長伸び）に合わせて、胸ベルト、腰ベルトの長さが調整できます。

注意



この調整は、リハビリテーションスタッフ及び販売店で行って下さい。
調整を誤ると、姿勢が悪くなり2次障害をおこす事があります。

1. 胸ベルト長さの調整の仕方

(1) P17 のカバーの外し方をご参照頂き、身体支持部からバックサポートを取り外します。

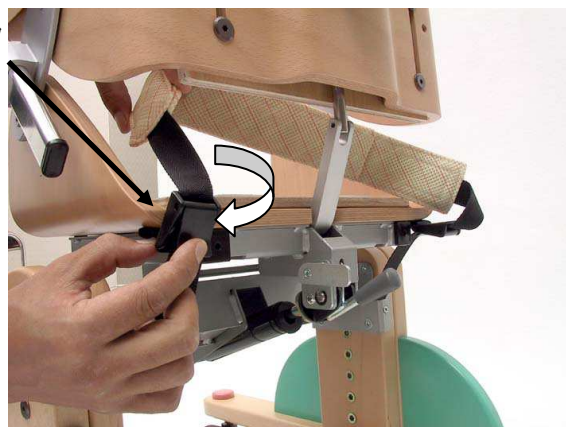
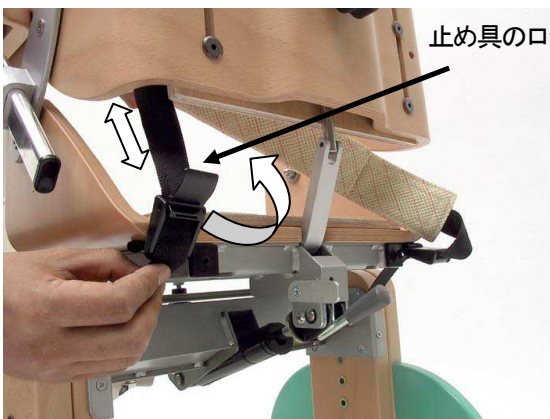
(2) ベルトを止めている押さえを＋ドライバーでゆるめベルトの長さを調整します。調整した後は必ずしっかり＋ドライバーでネジをしめなおしてください。



2. 骨盤ベルト長さの調整の仕方

(1) P17 のカバーの外し方をご参照頂き、身体支持部からシートを取り外します。

(2) 骨盤ベルトを止めている止め具のロックを解除してベルトの長さを調整します。調整した後は必ずしっかり止め具のロックをしてください。



20. 安全な使い方

警告



取り扱いを誤ると使用中に不具合を生じたり、けがをすることがあります。

1. 各種ベルトとサポート

(骨盤ベルト、胸ベルト、肩ベルト、体幹サポート)

お子さまの姿勢安定及び落下防止の為、必ず装着して下さい。

*たるみがある場合は調整して下さい。



2. プッシュハンドル

両手でしっかり持って操作して下さい。

*ハンドルは、介助者が使いやすい高さに調整できます。

(付属のL型レンチ(大)にて、ネジを緩め調整して下さい。)



3. キャスタ

移動しない場合は、必ずキャスタをロックしておいて下さい(P. 7参照)

警告



このいすは、室内の使用を目的にしていますので、室外での使用はできません。室外で使用するとキャスタが壊れ、転倒してけがをすることがあります。

4. 乗せ方


- (1) キャスタをすべてロックして下さい。
- (2) テーブルは外しておき、ベルト類は全て外して、開いておきます。
- (3) お子さまを乗せます。
- (4) テーブル、ベルト類を取り付けます。

5. 降し方

- (1) キャスタをすべてロックして下さい。
- (2) テーブル・ベルト類を全て外します。
- (3) お子さまを降します。

21. お手入れ方法

日常は下記のようにお手入れを行い、大切にお使い下さい。

注意  誤ったお手入れをしますと故障の原因になります。
異常を発見された場合はそのまま使用せず、弊社に相談して下さい。

1. 木製部分（座面、背もたれ、アームサポート、フットサポート、テーブル、木製脚部）

- ・日常のお手入れは、乾いたやわらかい布で、から拭きして下さい。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取り、硬くしぼった布で洗剤が残らないように拭き取った後、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- ・シンナーやアルコール系の溶剤は、絶対に使用しないでください。
- ・テーブルの上で、カッターなどを直接ご使用になることは避けてください。
- ・天板に熱いポットや湯飲みなどを直接置くことは避けて下さい。高温により、変形や変色をすることがあります。
- ・ゴム脚のついた商品を長時間置いておくと、表面に跡がのこりますので注意して下さい。
- ・かたい物（機器、陶器、金属製の物）を引きずらないで下さい、表面を傷つけることがあります。

2. クッション部分（シート、バックサポート、ヘッドサポート、各種サポート類）

- ・ほこりなどの汚れは、ブラシなどで軽くブラッシングして下さい。
- ・飲み物をこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。そのまま放置しますと汚れがとれなくなります。
- ・シンナーやアルコール系の溶剤は、絶対に使用しないでください。（生地をいためます）

クッションカバーは、洗濯できます。

- ・クッションを取り外し、ファスナーを開いてカバーを取り外してから、洗濯して下さい。
- ・面ファスナーは、生地に絡みやすいので、面ファスナーを固定して洗濯して下さい。
- ・カバーの素材は、ポリエステル100%です。

洗濯方法



- *手洗いのみです（水温上限30℃、中性洗剤が使えます）、洗濯機では洗えません。
- *塩素系漂白剤による漂白は、出来ません。
- *アイロンは、使えません。
- *ドライクリーニングは、できません。
- *脱水機、手絞りは、しないで下さい。
- *日陰に干して、乾かして下さい。


3. 金属部分（フレーム部分、他）

- ・日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取り、硬くしぼった布で洗剤が残らないように拭き取った後、柔らかい布で乾拭きして下さい。

22. 保管と廃棄方法

水分や直射日光等をさけ、日陰で保管して下さい。
各自治体の指示にしたがい廃棄処分して下さい。

23. ご使用前の点検チェックリスト

注意  本製品に破損や異常がないか、ご使用前に必ず各部を点検して下さい。異常状態のまま、絶対に使用しないで下さい。

[ご使用前に必ず次の点検を行って下さい。]

チェック項目	日付	年	年	年	年	年	年
		月	月	月	月	月	月
	日	日	日	日	日	日	日
キャストのガタツキはないか							
各部品がゆるみやガタツキがなく取り付けられているか							
各ベルト類に損傷や裂け等はないか							
縫製部分のほつれはないか							
面ファスナー(「16. 成長対応の調整方法」、「18. カバーの外し方」記載)の接着不良はないか							
各部にひび割れや欠け、変形等はないか							
各部のネジやカシメ部分に、ゆるみやガタツキはないか							
その他の異常はないか							

万一破損や異常が発生した場合はそのまま使用せず、必ず弊社にご連絡下さい。

パシフィックサプライ(株)本社営業部

TEL:072-875-8011 FAX:072-875-8015

異常状態のまま、絶対に使用しないで下さい。

本頁はコピーして点検にご利用下さい。

24. 保証規定

I. 保証の範囲

1. 保証期間中に品質の不完全に基づく故障を生じた場合は、この保証書により無料で修理致します。
2. 保証期間はご購入後1年間です。
3. 但し、次の場合は保証期間中でも有料になります。
 - (a) 取り扱い過誤による故障
 - (b) 製品に改良を加えた場合の故障
 - (c) 天災、地震等による故障
 - (d) 消耗部品及び各部の劣化による故障・損傷
 - (e) 保証書にお買い上げ日の記入や、お名前がない場合
 - (f) 保証書のご提示がない場合
4. 以上の保証は日本国内においてのみ有効です。
5. この保証によってお客様の法律上の権限を制限するものではありません。

II. サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合は、販売業者へ保証書を添えてお申し出下さい。

III. ご注意

保証書の再発行は致しませんので大切に保管して下さい。(取扱説明書の再発行は致します。)

機種名		ハートリーフチェアFS(木製タイプ)	
お客様	ご住所		
	電話		
	お名前		
お買い上げ日	平成 年 月 日	保証期間	購入日より 1年
		担当者	
住所：〒574-0064 大阪府大東市御領1丁目12番1号 TEL:072-875-8011 FAX:072-875-8015			

(販売元)

パシフィックサプライ株式会社

本社営業部 〒574-0064 大阪府大東市御領 1-12-1
TEL 072 (875) 8011 FAX 072 (875) 8015

札幌営業所 〒060-0051 札幌市中央区南1条東6-2-12 松浦ビル1F
TEL 011 (218) 5801 FAX 011 (218) 5805

盛岡出張所 TEL 019 (661) 5407 FAX 019 (661) 5408

東京営業所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-3-12 グレイスビル2F
TEL 03 (3352) 0757 FAX 03 (3355) 3154

名古屋営業所 〒486-0946 愛知県春日井市勝川町西3-5
TEL 0568 (34) 2696 FAX 0568 (34) 2697

広島営業所 〒733-0035 広島市西区南観音 7-5-13 日竹ビル-中田1F
TEL 082 (293) 6255 FAX 082 (293) 6299

福岡営業所 〒812-0054 福岡市東区馬出 2-2-12
TEL 092 (641) 8151 FAX 092 (641) 0444

<http://www.p-supply.co.jp/>

不許複製

ハートリーフェアーFS(木製タイプ)取扱説明書
No.HLCFS(木製)-05年11月第1版